

# フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2022

ミュージザ川崎シンフォニーホール

## 新日本フィルハーモニー交響楽団

New Japan Philharmonic

山本直純生誕90年と新日本フィル創立50年を祝う！

出演

指揮：広上淳一 Junichi Hirokami, *Conductor*、山本祐ノ介<sup>◇</sup> Yunosuke Yamamoto, *Conductor*

箏：田村法子<sup>☆</sup> Noriko Tamura, *Koto*

三味線：野澤徹也<sup>☆</sup> Tetsuya Nozawa, *Shamisen*

尺八：石垣征山<sup>☆</sup> Seizan Ishigaki, *Shakuhachi*

邦楽打楽器：望月太喜之丞<sup>☆</sup>

Takinojo Mochizuki, *Japanese traditional percussion*

邦楽打楽器：富田慎平<sup>☆</sup>

Shinpei Tomita, *Japanese traditional percussion*

合唱：東京音楽大学合唱団有志<sup>\*</sup> Tokyo College of Music, *Chorus*

コンサートマスター：崔 文洙 Munsu Choi, *Concertmaster*

曲目 山本直純特集

シンフォニック・バラード(交響譚詩)

【新日本フィル委嘱作品、1983年】 (16分)

Symphonic Ballade

第1楽章 リソナンス 第3楽章 リメンブランソ

第2楽章 ロマンソ 第4楽章 ダンス

和楽器と管弦楽のためのカプリチオ<sup>☆</sup>

【日本フィル委嘱作品、1963年】 (32分)

Capriccio for Japanese Instruments and Orchestra

—休憩(20分)—

児童合唱と管弦楽のための「えんそく」より<sup>\*</sup> (6分)

Excerpts from "Ensoku" for Children's choir and Orchestra

光る(第1曲)—おべんとう(第3曲)

「田園・わが愛」より<sup>\*</sup> (15分)

Excerpts from "Den-en / Waga Ai"

ふるさと—間奏曲1：田舎の少女の手紙—がっこの先生—間奏

曲2：都市の青年の手紙—君が人生の時—夜明けのひばり(沢

田完編曲)—わが田園

邦楽打楽器：長田伸一郎<sup>☆</sup>

Shinichirou Nagata, *Japanese traditional percussion*

箏：伊崎善之<sup>☆</sup> Yoshiyuki Izaki, *Ryuteki*

ドラムス：東 佳樹<sup>☆</sup> Yoshiki Higashi, *Drums*

ギター：尾尻雅弘<sup>☆</sup> Masahiro Ojiri, *Guitar*

## ■出演者プロフィール



©Masaaki Tomitori

箏：田村法子 Noriko Tamura, *Koto*

1999年NHK オーディション合格。2004年第11回賢順記念全国箏曲祭コンクールにて<西村朗「タクシム」>で初の二十絃箏第1位受賞、08年日本現代音楽協会・朝日新聞主催、第8回現代音楽演奏コンクール競奏Ⅷにて第3位受賞。現代音楽での活躍が多く、NHKFM「邦楽百番」「邦楽のひとつとき」などに出演。宮本幸子氏、吉村七重氏に師事。

三味線：野澤徹也 Tetsuya Nozawa, *Shamisen*

洗足学園音楽大学の三味線講師を務める。2021年、NHKFM「邦楽のひとつとき」にて野澤徹也特集が放送された。2022年、日本現代音楽協会主催でソロリサイトの全曲初演で開催された。受賞歴はCD「柗屋正邦作品集」が令和元年度第74回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞など他多数。

尺八：石垣征山 Seizan Ishigaki, *Shakuhachi*

父・初代石垣征山、人間国宝・山本邦山に師事。都山流師範試験に首席登第、父、征山の名を襲名。東京邦楽コンクールを皮切りに、くまもと全国邦楽コンクール、テレムクロスオーパー国際音楽コンクール、都山流本曲コンクールなどで数多くの最優秀賞を獲得。東京藝術大学音楽学部邦楽科、NHK 邦楽技能者育成会卒業。都山流尺八楽会大師範。

邦楽打楽器：望月太喜之丞 Takinojo Mochizuki, *Japanese traditional percussion*

邦楽打楽器演奏家。小鼓、太鼓など日本の伝統的な打楽器を専門とし、歌舞伎音楽から能楽囃子、現代音楽、ジャズやロックにいたるまで幅広い演奏活動の他、31回、26カ国に及び豊富な海外渡航経験による国際交流や、後進の育成、教育、また普及にも力を入れて、民族音楽としての邦楽打楽器の可能性を追及している。

邦楽打楽器：富田慎平 Shinpei Tomita, *Japanese traditional percussion*

北海道帯広市出身、洗足学園音楽大学打楽器コース卒業。卒業時に優秀賞を受賞。NHK「日本の民謡」「民謡魂」、テレビ東京「年忘れにっぽんの歌」、フジテレビ「27時間テレビ」、読売テレビ「猿ロック」などに出演。オーケストラアジア、ゆる人各メンバー。洗足学園音楽大学現代邦楽コース非常勤講師。

## ■オーケストラ・プロフィール

### 新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

【創設】 1972年、小澤征爾を中心に自主運営のオーケストラとして創立。

【指揮者】 小澤征爾(桂冠名誉指揮者)、佐渡 裕(ミュージック・アドヴァイザー)、

久石 譲(コンポーザー・イン・レジデンス・アンド・ミュージック・パートナー)

【楽団員数】 90名

【ホーム・コンサート・ホール】 すみだトリフォニーホール

【楽団ウェブサイト】 <https://www.njp.or.jp/>

邦楽打楽器：長田伸一郎 Shinichirou Nagata, *Japanese traditional percussion*

三重県出身。洗足学園音楽大学大学院修了。現在、和太鼓に留まらず、パーカッション等、打楽器奏者として幅広く活動中。他ジャンルとのコラボレーションも精力的に行ない、縦横無尽な音楽性に定評がある。NHK紅白歌合戦などのTV番組、坂本冬美、石川さゆりなどの公演に多数出演。その他、ミュージカルやレコーディングなどその活動は多岐にわたる。

箏：伊崎善之 Yoshiyuki Izaki, *Ryuteki*

雅楽演奏家。東京都出身。高校入学時より雅楽を始め、東京藝術大学音楽学部を卒業。在学中に横笛・歌謡・左舞・楽琵琶・打物を修め、卒業後には横笛を芝祐靖氏に師事する。雅楽演奏団体「伶楽舎」に所属し、これまでにアメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国をはじめ、サイトウ・キネン・フェスティバルなど国内外の数多くの公演に出演。

ドラムス：東 佳樹 Yoshiki Higashi, *Drums*

1975年、大阪府出身。東京藝術大学卒業。シエナ・ウィンド・オーケストラの打楽器奏者として活動する一方、ドラムス、パーカッション奏者として、コンサート、ミュージカル、スタジオワークなど、様々なシーンで音楽活動を展開している。MUSIC PLAYERS おかわり団メンバー。

ギター：尾尻雅弘 Masahiro Ojiri, *Guitar*

パークリー音楽大学にてジャズ・ギター、マンハッタン音楽学校にてクラシック・ギターを学ぶ。第5回GFA国際ギター・コンクール及び、第29回バリ国際ギター・コンクールにて共に第3位を受賞。日本フィルハーモニー交響楽団との「アランフェス協奏曲」で日本デビュー。ポニー・キャニオン、オクタヴィア・レコードなどから多数CDリリース。

合唱：東京音楽大学 Tokyo College of Music, *Chorus*

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。合唱指導として志村文彦、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、2022年度よりフレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。



	<b>●感動をもう一度！アーカイブ配信で本日の演奏をお楽しみいただけます。</b> 配信期間：公演翌々日12:00～8/31(水) 23:59	1,500円 ※ミュージザ友の会割引あり
<b>●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージザ ●アンケート ●パートナーショップ特典</b>	<b>サマーミュージザの特設サイトよりご覧ください。</b>	
配信の詳細はこちら	<a href="https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/ticket/ticket_online">https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/ticket/ticket_online</a>	<a href="https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/">https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/</a>


ミュージザ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー ミュージザ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。

法人	個人	個人	個人
【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 川崎フロンターレ キヤノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェフト株式会社 三井不動産グループ	川崎アセライ株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきフーズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 株式会社きんでん ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 株式会社さいか屋 川崎店 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社	株式会社デイ・シイ 東亜石油株式会社 株式会社東芝 東洋ロザイ株式会社 びあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ヨドバシカメラ * 大宮町町内会	後藤 実 小林 知子 斎藤 隆徳 佐伯 昇 佐藤 晴茂 鈴木 甚郎 鈴木 徹 関口 浩・三代子 高橋 美子 竹内 啓介 都築 豊 中村紀美子 西山 英昭 長谷川喜代江 瀧尾 泰 林 直人 廣瀬 治昇 前田 泉 松本 武巳 山内 利夫 山下 啓史 山田 昌克 A. A D. Y M. C N. A T. Y 他匿名14名 敬称略五十音順

(2022年7月1日現在)

ホール内は小さな音でもよく響きます。ご協力をお願いいたします。


 演奏中の入退場はご遠慮ください。


 全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。


 開演中は携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器は電源をお切り


ください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の


妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。

 時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。


 許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

 鈴のついたアクセサリー、お手荷物など、また、アメの包み紙を開ける際は、演奏中に音が出ないように十分ご注意ください。

 演奏中の会話はお控えください。

 曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから

拍手をお送りください。

 館内は飲食禁止となっております(ロビーでの水分補給を除く)。

【補聴器等をお使いの皆さまへ】

ハウリングの発生を避けるために、補聴器等が正しく装着されていることを

ご確認いただけますよう、よろしくをお願いいたします。

※演奏時間は目安です。

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

 新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、ご協力をお願いいたします。

【お客様へのお願い】

ご協力ください マスクの常時正しい着用 / 手指消毒 / ロビーでのお客様同士の

間隔の確保 / 必要最小限の会話 / 終演後の分散退場

ご遠慮ください プラボー等、出演者への声かけ / 出演者への面会、花束・プレゼント

【休止・停止中】

クローク / ドリンクコーナー / 冷水器 / ブラケットの貸し出し

※万一、クラスター(集団感染)の発生が明らかになった場合、保健所等に入場者の情報を

提供する場合がございます。 ※新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や神

奈川県LINEコロナお知らせシステムのご登録をお願いいたします。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA

映像・音響制作：YouClassics

配信協力：株式会社 ぶらあぼホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会





# 20世紀屈指の天才音楽家、山本直純 記念イヤーにその多彩な業績を振り返る

今年、作曲家&指揮者・山本直純（1932～2002。以下「直純」と表記）の生誕90年・没後20年にあたる。

音楽家の家系に生まれた直純は、高校時代に名教師・齋藤秀雄の指揮教室で小澤征爾らと共に学び、東京藝術大学作曲科に入学。在学中から放送等の分野で作曲活動を展開した。1968年からは森永チョコレートのCM「大きいことはいいことだ」の作曲&出演でお茶の間にも強い印象を与え、1972年には小澤征爾と共に新日本フィルハーモニー交響楽団の設立に参画。1972～83年にはテレビ番組「オーケストラがやって来た」の音楽監督と司会で活躍した。1979年ボストン・ポップス（のフル・コンサート）を日本人として初めて指揮。1983～98年には大阪城ホールでの「1万人の第九コンサート」の音楽監督&指揮者を務めた。

様々な楽団で楽しいコンサートを多数行い、赤いタキシードに口ひげと黒縁メガネの愛すべきキャラクターでクラシック音楽の普及に貢献した直純だが、4000曲もの作品を残した“大”作曲家でもあった。本公演は、前記の記念イヤーと新日本フィルの創立50年が重なる今年、改めてその業績を見直すコンサートである。

## | 本当はマジメな天才、直純さん

前半は本格的なクラシック作品。何しろ直純は、10歳で連弾曲「小ロンド」を作曲するほどの天才だった。

最初の「シンフォニック・バラード（交響譚詩）」は、1983年、テレビ番組「オーケストラがやって来た」の放送終了に際して、番組のメイン楽団・新日本フィルの委嘱で書かれた作品。「リソナンス（共振、共鳴）」「ロマンス」「リメンブランス（記憶、回想、追悼）」「ダンス」の4楽章（タイトルは全て「ンス」で終わる）からなるメロディアスかつ多彩な音楽で、「リメンブランス」の葬送行進曲等に、番組への愛惜の念が込められている。

おつぎの「和太鼓と管弦楽のためのカプリチオ」は、日本フィルハーモニー交響楽団が1958年に開始した委嘱新作企画「日本フィル・シリーズ」の第10作。1963年に藝大時代の師・渡邊暁雄の指揮で初演された。それまで当シリーズに起用された作曲家は、矢代秋雄、間宮芳生、三善晃、柴田南雄、武満徹、黛敏郎など。委嘱は直純の才能の証でもあろう。曲は、全5楽章、30分強の大作で、和洋折衷かつシリアスとエンタテイメントが同居した音楽。箏、三味線、尺八、邦楽打楽器、竜笛、ドラムス、ギター、ラテン・パーカッション等を用いて日本の四季が描かれる。第1楽章は朦朧もうろうから陽気へと移ろう春、第2楽章は気だるい夏、第3楽章は秋の祭り、打楽器群のカデンツァを経た第4楽章も賑やかな秋（和太鼓が活躍）、第5楽章は重く寂しい冬の音楽。第2楽章以下は続けて演奏される。

## | 歌が大好きだった直純さん

後半は管弦楽付きの合唱曲で始まる。最初の「えんそく」（作詞：阪田寛夫）は、1964年にNHKの委嘱で作曲された児童合唱組曲。今回は、遠足の1日を描いた情感豊かな全6曲の中から、第1曲「光る」と第3曲「おべんとう」が演奏される。

おつぎの「田園・わが愛」（作詞：寺山修司）は、1962年にHBC（北海道放送）のプロデューサーの依頼で書かれた合唱組曲。これは直純自身著書の中で、「ロマン

ティックで清廉な、涙の出るほど美しい—とわれながら感心する名曲」と自賛している。瑞々しく感動的な本作は、全8曲の間に手紙の朗読が3つ入る構成。今回は、第1曲「ふるさと」、間奏曲（1）—田舎の少女の手紙、第3曲「がっこの先生」、間奏曲（2）—都市の青年の手紙、第6曲「君が人生の時」、第7曲「夜明けのひばり」、第8曲「わが田園」が演奏される。

かわって「童謡メドレー」。1966年の作曲以来長く愛唱されている「1年生になったら」（作詞：まど・みちお）、コミカルな「こぶためきつねこ」（作詞も直純）、合唱コンクールの課題曲「おーい海」（作詞：山川啓介）、愉しく弾む「歌えバンバン」（作詞：阪田寛夫）と代表曲が続く。

## | 才能のデパート、直純ファミリーの音楽をご紹介

前曲を編曲したのは、チェロ奏者、指揮者、作・編曲家である直純の次男・山本祐ノ介。なお長男・純ノ介も作曲家にして大学教授だ。そして直純の妻・正美（藝大の同期生）も、上皇后美智子妃の詞に付曲した「ねむの木の子守歌」で知られると同時に、7曲の交響曲等を残した本格派の作曲家。ここで彼女が書いた交響組曲「日本のリズム」三部作の1曲「スプリング・ハズ・カム」が披露される。この曲は、1976年に秋山和慶指揮／東京交響楽団のアメリカ公演で初演後、国内外で演奏されている。

## | テレビや色々なところで大活躍した直純さん

ここからは様々な楽曲が登場する。まずは1972年札幌冬季オリンピックの入場行進曲「白銀の栄光」。壮大な迫力と軽妙さを併せ持つグランド・マーチで、その後も吹奏楽、管弦楽の双方で演奏されている。

今度は1988年のNHK大河ドラマ「武田信玄」テーマ曲。力強く爽快に始まり、美しい旋律が流れる中間部を経て、堂々たる進軍に至る。なお、直純は1976年の「風と雲と虹と」の音楽も担当している。

最後はお馴染みの「CMソング、TV／ラジオ番組メドレー」（山本祐ノ介編曲）。前記の「森永チョコレート」、「若さだよ、ヤマちゃん！」の言葉で印象付けた「サントリー純生」の両CMソングから、「8時だョ！全員集合」「マグマ大使」「3時のあなた」「小沢昭一の小沢昭一的ところ（ラジオ）」「ミュージックフェア」と、古い世代には懐かしい番組の音楽を経て、直純が1969年からの48作と特別編の全音楽を担当した国民的映画「男はつらいよ」のテーマで締めくくられる。

### コラム

## 子どもたちの育成に力を入れた直純さん

タレント的な活躍や飛び上がったの指揮など派手なイメージが強かった山本直純。周りを巻き込んで朝まで酒を飲むといったそれらしいエピソードもあるのだが、ここでは違った一面をご紹介しよう。それは子どもたちのオーケストラに力を注いだこと。一つはユース楽団の草分け「ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ」。直純は古くから関わり、1978年に創設者の塚原哲夫が急逝後は、音楽監督的な立場（ポストは特になかった模様）で、亡くなるまで指導を続けた。その指導ぶりは、ある人曰く「新日本フィルよりまじめで、全身全霊、子どもに捧げていた」という。直純指揮／ジュニア・フィルによるマスカーニの「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲の録音が残されているが、その心のこもった演奏は実に感動的だ。また1997年からは「高松ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（現 かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ）」の常任指揮者も務めており、晩年は子どもたちの育成にとりわけ尽力していた。



© 藤原栄治

(文＝柴田克彦)